

令和8年度富山県民芸術文化祭 第1回実行委員会 議事概要

- 1 日 時 令和8年4月23日(木) 午後2時～午後3時
- 2 会 場 富山県庁本館4階大ホール
- 3 出席者 委員12名、監事1名(欠席者 委員3名、監事1名)
- 4 次 第
 - (1) 委員長 挨拶
 - (2) 報告事項
 - ① 「県民芸術文化祭2025」事業報告
 - ② 「県民芸術文化祭2025」収支決算
 - ③ 「県民芸術文化祭2025」監査報告書
 - (3) 協議事項
 - ① 「県民芸術文化祭2026」事業計画(案)
 - ② 「県民芸術文化祭2026」収支予算(案)
- 5 「県民芸術文化祭2026」事業計画(案)に対する主な意見

委員名	発言内容
山崎副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・関連事業(地域文化フェスティバル、富山県芸術祭、協賛事業)は昨年度までと同様に実施するのか。 ⇒(事務局) 昨年度までと同様に実施する予定であり、県民芸術文化祭ホームページに、関連事業を一覧などで紹介するページを設け、県内一円で開催される文化行事を広くPRしたい。
佐部利委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学生によるワークショップの準備は夏休み明け頃からはなるが、準備段階から、いろいろな人との交流を図り、一体感を持てるとよい。開催に向けた事前準備の様子などを盛り込んだ広報を行っていくと、より効果的に人を巻き込むことができる。 ・小さい子どもを持つ保護者たちが安心してイベントに参加できるように託児所を設けるとよい。
可西委員	<ul style="list-style-type: none"> ・長く続けてきた県民芸術文化祭が新しい形で、より広く県民に親んでもらえるような事業計画となっている。 ・大ホールでの舞台公演は、ここでしか見られないものを意識して、多様なコラボや参加型の要素などを企画していきたい。
米田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特に広報について、これまで以上に力を入れていただきたい。なるべく多くの参加者や関係者を事前にアピールしてほしい。 ・ディスコプログラムは、障害の重い方やご高齢の方も含めて、誰でも参加できるようなアート体験を模索するなかで3年前から始めた取り組みであり、オーバードホール中ホールや県民会館、勝興寺などでも開催した。ディスコを通して、文化に興味を持ってもらえるようなサイクルを生み出せるイベントにしたい。

中川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・華道連合会としては、会員が減って高齢化している中で、これまで同様の形で華展を行うことができなくなってしまったが、これからはいけばなの普及を展開していきたいと考えており、また新しい形に関わりたいと考えている。 ⇒（佐部利委員） 学生や子どもたちが作った花器を使って、いけばなをするということもできるのではないか。 ・とてもいい考えだと思う。これまで高岡銅器やガラスを使って表現をしたこともある。新しいアイデアで、遊びながら花を生けるようなブースがあってもよいと思う。 ・今回は1日開催なので、報道機関にも応援していただくなど、事前の広報に力を入れてほしい。
中井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の新しい県民芸術文化祭のコンセプトはとてもいいと思う。合唱連盟を含め、各文化団体では、どうやって若い人たちにつなげていくかということに苦心しているので、イベントでの交流を通じて若い方々に文化や芸術に興味を持っていただきたい。また、他の分野との横のつながりも大事であり、参加者同士が交流するきっかけとなるイベントになるとよい。
藤井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画は、無理のない形で、遊びをもたせており、始まりとしてはちょうどいいのではないか。最初から盛り込みすぎると大変になる。 ・これまで長い間、華道連合会と美術連合会で展示を行ってきたが、ここ数年は調整が難しい面もあり、今回内容を見直すということはいいいタイミングだったと思う。また新しい形で一緒に盛り上げていきたい。
吉本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡市では学生との協力を積極的に行っている。県民芸術文化祭でも、高校生などがボランティアとして気軽に参加できるような枠を用意してはどうか。
笹谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡市の事業では特に子どもの参加を大切にしている。今回の事業計画でも「子ども」や「参加型」がキーワードになっており、非常にいい企画だと思うので、ぜひ協力していきたい。
水戸委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡文化ホールは今年、開館40周年を迎えるが、これまで培ったノウハウを生かして一緒にいいものを作り上げていきたい。
清原副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡文化ホールの特性である大ホールと多目的小ホールがあることなどを活かしたい企画だと思う。 ・新たな企画なので調整が大変な部分はあるかと思うが、施設管理者という立場としても、関係者の皆さんと連携していきたい。
今井監事	<ul style="list-style-type: none"> ・県の負担金が減り、全体事業費も圧縮されている中ではあるが、少ない経費でより効果的な広報を行うなど、実行性のあるイベントになるとよい。